



小野邸

大分市中春日町

●敷地面積/144.04㎡ ●延床面積/168.25㎡ (1階82.32㎡、2階85.93㎡) ●用途地域/住居地域 ●竣工/平成2年8月 ●構造/鉄骨RC造り ●家族構成/夫婦 (主人42歳、妻41歳) + 子供1人 (男8歳) + 父 (72歳)

限られた敷地内でも、 段差を上手に利用して広く 開放感あふれる家づくりに成功。

大分市春日町の住宅街。駐車場の真上の壁面に『ONO』と刻まれた、住宅地には珍しいコンクリート打ちっぱなしの家。お父さんとの同居を機会に、古くなくなった家を取り壊して新築したという、小野さんのお宅です。

モダンな家の外観は、一見、広く大きく見えますが、敷地は46坪ほど。左右に家が建ち並ぶ限られた敷地面積での新築でした。剃き出しのコンクリートはご主人の強い希望によるもの。その家に、駐車場を設け、お父さん・夫婦・子供のそれぞれ独立した部屋を作り、さらに明るく広々としたリビングが欲しい。土地の広さから言って、この実現はとても不可能かと思われましたが、それを可能にしたのがこのスキップフロア設計です。

4、5段ほどのスキップフロアを付けて、各階ごとに部屋を設け、天井のアップダウンや、大きなガラス窓、たくさんの明かり取りの効果で、家を広く明るく見せることに成功。間取りはまず、同居することになったお父さんの部屋を、上にも下にも往来が簡単な中央の階に決めることから始め、そこからトイレやバスルーム、個人の部屋を配置していきました。1階に駐車場と玄関・子供部屋、家族が集まるリビングは中2階。そして、最上階は、キッチンと夫婦の部屋に。それぞれに個室があるばかりでなく、2つのトイレ・洗面スペースまで確保。リビングも、吹き抜けの天井と南向きの全面ガラス、部屋と一体化したベランダで、希望通りの開放感あふれる明るい空間になっています。

「光がたくさん入り込んでくるお蔭で、コンクリートの冷たさも感じませんね。最初、設計士さんから段差の付いた図面を見せられた時、どういう形の家のかピンと来なかったんですけど(笑)、骨組みができるに従って、間取りや明かり取り、収納など、様々な工夫がなされていることがわかりました」と話す奥様。

間取りの工夫を奥様が最も感じるのは、最上階に夫婦の部屋とトイレ・キッチン・ダイニングスペースを置いたことだそう。朝、寝室から起きて、洗面そしてキッチンにそのまま動けること。ご主人の帰りが遅い時も、音を気にせず食事の用意ができること。また、キッチンの天袋や、階段の下など、段差のためのデッドゾーンを収納スペースに利用したり、普段開放しているダイニングやリビングが、いつでも独立できるような戸やドアが目立たないように備え付けられている。…と家を機能的に使えるアイデアが至る所で、ふんだんに生かされているようです。

限られた条件内でもあきらめず、希望を最大限に取り入れるために、プロのアドバイスを受けたり、ちょっとした発想の転換を試みるだけで、家はこんなに自由で快適になってきます。